（公財）石川県デザインセンター　中期目標

（実施期間　令和3年度～令和7年度）

令和3年3月　策定

１　団体の設立目的

デザイン振興に関する事業を行い、産業の発展と県民文化の向上に寄与することを目的としています。

２　団体の果たすべき役割

県民各層のデザインマインドの高揚と産業界のデザイン導入の促進に向け、商品開発支援や販路開拓支援、人材育成事業の展開、デザインに係わる相談等、さまざまなデザイン振興事業を総合的に推進し、支援することを役割としています。

３　事業内容

（1）基幹産業デザイン力育成支援事業

デザインの活用に関するセミナーや、企業ごとの個別課題に対して実践的な研修を行うことにより、県内企業のデザイン活用力強化を図ります。

（2）石川県デザイン賞

デザインの普及や発展に著しく貢献した者を表彰し、デザインに対する意識の高揚とデザイン導入の促進を図ります。

（3）マーケットイン商品開発事業

外部講師の指導のもと、売り場を設定した商品開発モデル事業を実施し、作り手の商品開発能力や販路開拓能力の強化を図ります。

（4）デザイン推奨事業

石川のデザインの優れた商品を選定し、見本市への出展や選定商品のカタログの作成・配布を通じて、作り手と売り手を結ぶ新しい販路開拓の取組を支援しています。

（5）石川県デザイン展開催事業

デザインに対する理解の促進とネットワーク化の促進を図ることを目的に、一般公募により選出されたデザイン作品や学生からの提案作品を一堂に展示します。

（6）「国際漆展・石川」開催事業

新しい漆の価値創出としての提案を広く内外に訴え、優れた作品を表彰展示することにより、漆の新しい方向性、可能性を探ることを目的に３年に１度開催しています。

（7）「国際ガラス展・金沢」開催事業

本県に「ガラス」という新しい生活文化や産業を育てるとともに、他の工芸や産業分野に対して創造性を触発していくことも期待し、３年に１度開催をしています。

４ 現状と課題

（1） 管理運営体制について

・ デザインによる生活・産業・文化の向上と、デザイン業界の発展に向け、デザイン関係団体の窓口、とりまとめ等、今後とも各種デザイン振興事業を総合的に推進する必要がある。

(2)今後の方針について

・ 基幹産業分野（機械・繊維・食品・IT 分野）においては、売れる商品デザインをテーマとしたセミナーを開催し、県内企業のデザイン活用の促進を図っていく。

・ デザイン導入のためのセミナーや、地域に出向いてデザイン相談を行うなど、まだデザインを活用したことのない新たな企業の発掘にも努めていく。

・ 専門家や大学などと連携しながら個々の企業課題に合わせたデザイン指導を行い、商品化へと結びつけるための支援も行っていく。

・ クラフト分野においては、個人作家が自力で消費者ニーズを把握、販路を拡大していくことが難しいため、引き続き大手百貨店バイヤーの指導による新商品開発支援や、展示会への出展等による販路開拓支援を行っていく。

(3)団体運営の効率化について

・事務経費や光熱水費などの管理費の節減に努める。

５ 中期目標

（1）中期目標

デザイン相談件数を５年間で１０％増加させます。

（2）測定指標と目標値

※基準値は原則として過去3年平均

測定指標	基準値 （H29～R1平均）	中間目標値 （R5）	最終目標値 （R7）
デザイン相談件数	２８３人	３００人	３２０人

６ 目標達成に向けた具体的な取組内容

（1）相談件数増加に向けた取り組み

・デザイン導入のためのセミナーや、地域に出向いてデザイン相談を行うなど、まだデザインを活用したことのない新たな企業の発掘にも努めていく。

（2） 団体運営の効率化に向けた取り組み

・補助事業、受託事業に見合った範囲で執行しているが、更なる事務経費や光熱水費などの管理費の節減に努める。